

(1) 昭和42年2月1日

都道府県教育長協議会(幹事長)
小尾東京都教委教育長(第1部会会長)、田村群馬県教委教育長(第2部会会長)、山下尚志(第3部会会長)、秋田県教委教育長(第4部会会長)、大森指導部長(第5部会会長)、財政課長(第6部会会長)、各教委幹事長等が出席して開催された。

このほど関汽本社は堀江会長、山下尚志、岡本仁蔵常任幹事、各委員長協議会との合同総会で提出された修学旅行対策についての協議書を提出するが、各教委で行なった修学旅行の実態を持ちより、具体的な改善策をたてる。なお、同幹事局でも会議などと調査した資料を参考として各教委長に提出する。

なお官公会議で第四部会(教育)から提出された教職員の旅輸送計画について協議した。なお

修旅対策を議題に

春の輸送を協議
専用船運営協定

事故防止など検討

都教育庁

琵琶湖コース

私立博物館に

科学技術振興財團

近代的な夢が

修学旅行のスポーツ

鈴鹿サーキット

全船冷暖房完備の修学旅行専用船
わかば丸・ふたば丸
旅客定員805名・1,100トン
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を!

関西汽船

お問合せは… 大阪(441)9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

修学旅行新報

価上りに対処する

教育関係者の意見を聞く

修学旅行新聞

発行所 財団法人 全国修学旅行研究協会
発行人 白瀧未紀
東京都千代田区神田1丁目3番地(昭ビル)
電話(03) 2426-2932
振替(東京) 363337

日程にシワ寄せ

恒久化に補助金制度を

修学旅行の基本的な考え方は①教育性②安全性③経済性に立たねばならないが、本紙ではこれら3つの柱について全協各支部長を通じ、教育関係者や修学旅行担当者から意見をきいた。今回は「最近の値上がりに対するはどうすればよいか」という経済性の課題を取り上げたが、それには「日程短縮」また抜本的には「補助金制度の確立」を望む声が多くた。

修学旅行の値上がりは修学旅行にも大きく響くのが当然で、「まだ増額を望むことになった」といふべきことをしているようだ。これ以上の負担は家計をおびやすくなる。その対策はどうぞ先ず「日程を短縮しなければならない」といふべきだ。これが大府教委学校体育係長・三井庄氏といふことだ。

その対策はどうぞ先ず「日程を短縮しなければならない」といふべきだ。これが大府教委指導主事・畠野昭氏、秋田県教委指導主事・宇梶守氏といふことだ。

その結果「見学場所を集中的に

する」(山形県教委指導主事・阿部安佐氏)といつて手段はな

いようで「教育効果を考え、参加できる範囲で最低限におさえ

ること」(宮崎県教委指導主事・大山文雄氏)に結ぶるが、この

ばあい「教育効果」をいかにして

見出しうるかは問題だ。

この解決には「国費が公立の專用

宿泊費を出すものも一方法」(大

阪府福岡市西小学校長・近藤氏)

と建言しているのが目立つ。

ところが「止め得ない」とい

う意見もあり、さらに「交通機関に對

し補助金を出すものも一方法」(大

阪府福岡市西小学校長・近藤氏)

と建議しているのが目立つ。

また「同じ高校でも公私不分

差が大きすぎる」(大阪市布施市

高橋長・高橋修旅運営委員・北田義雄

氏)と指摘しているのは、

抜本的な対策としては「修学旅

行に対する補助金制度を確立すべ

りあった。

抜本的な対策としては「修学旅

行に対する補助金制度を確立すべ

初瀬朝倉宮址

菜をつんでいる娘さんよお名

前は？私は大和の國の

天皇です。さあ寝ます

かり身分を明かしまし

た。あなたも名乗ってく

ださい」といふので

古代歌に特有な対句の繰り返

て書こませ我じま

告らぬ家をも名をも

一體を持ちへらを持つて、

皇に付会されて伝承されたので

ある。伝えられているよう

秋の半ば私は近畿初瀬駿に

下車して、初瀬の方葉古墳をお

づれながら伊勢街道を黒崎

初瀬方面は見るよしもないが、

美しい思い出の

ところがある。暖かな日だった

平時にひびける西方には歓勞

ことのよきところに難本枕が

山・香久山ざらに運ばれて背後

いる。

古事記は特有な対句の繰り返

て書こませ我じま

て五世紀の代表

的英雄の雄略天

（われ）こそそれしきべ

て書こませ我じま

おしなべて吾

く歌い継がれた民

譯あらう。そし

て五世紀の代表

的英雄の雄略天

（われ）こそそれしきべ

て書こませ我じま

まとの國はおしなべて吾

く歌い継がれた民

譯あらう。そし

て五世紀の代表

的英雄の雄略天

修学旅行に対する意見を聞く

修学旅行

教育関係者の意見を聞く

修旅対策を議題に

都道府県教育長協議会開く

都道府県教育長協議会(幹事長一郎会長)は、小東京都教委教育長では、第一部会(会長・田村善蔵)が開かれた。この日は既定の研究課題のほか、翌月十四日、東京駅で開かれた全国都道府県教育長協議会との局会議で提案された修学旅行対策について協議した。当日は既定の研究課題のほか、各教委で行なった修学旅行の実態を持ち出し、具体的な改進策をたてる。なお、同事務局も全修協などで調査した資料を参考として各教長に提出する。

なお、会員総会で第四部会(教育財政)から提出された教職員の旅費計画について協議した。なお

春の輸送を協議
専用船運営協定

事故防止など検討

都教育庁

琵琶湖コース
春の輸送を協議
専用船運営協定

業者を招き懇談会
科教育

私立博物館に

科学技術振興財團

滋賀県が埼玉で説明会

滋賀県はこのほど

新潟県はこのほど

<p

